



# 国際金融公社 (IFC)

www.ifc.org

## ミッション

IFC は、開発途上国の民間部門における持続可能な投資を促進することにより、これらの国々の貧困削減と人々の生活水準向上を支援する。

## 概要

国際金融公社 (IFC) は途上国での民間企業の活動を支援する世界銀行グループに属する国際金融機関である。1956年設立。他の世界銀行グループ機関と密接な関係にあるが、法的には別の存在で、資金も別個のものである。IFCの目的は、開発に貢献しうる民間企業が加盟国である途上国で行う投融資に対して、当該加盟国政府の償還の保証がなくとも投融資を行うこと、投資の機会と内外の資本および経験に富んだ経営技術を結び合わせることで、また加盟国における生産的な投資への内外資本の流入を刺激することなどである。

## 組織構成

最高意思決定機関である総務会は、IFCの加盟国でもある諸国を代表する世界銀行の総務と総務代理で構成される。総務会は、通常、毎年1回開催される。理事会はIFCの加盟国でもある諸国の世界銀行の理事で構成され、一般業務を監督する。世界銀行の総裁はIFC総裁及び理事会の議長を兼ねる。

総裁：ジェームズ・D・ウォルフエンソン (James D. Wolfenson)

長官：ピーター・L・ヴォイケ (Peter L. Woicke)

加盟国数：175カ国 (日本は原加盟) 株主構成：米国 (24%) 日本 (6%) ドイツ (5.5%) 英国・フランス (各5.1%) イタリア・カナダ・ロシア (各3.5%)

職員数 1900人 (うち約35%が在外事務所勤務) (参考：JBIC：888人、2001/3現在)

世界銀行グループ全体の職員数：8007名、うち日本人116名 (2001/6現在)

## 活動

- 途上国における民間企業への
  - 融資 (長期ローン) (最長20年満期)
  - 投資 (株式取得) (上限30%)
  - 準株式 (劣後ローン・株式転換債務・優先株等)
  - 保証およびリスク管理商品 (通貨・金利スワップ、その他ヘッジ商品)
  - 資金動員 (民間金融機関によるIFCローンへの参加)
- その他サービス
  - 助言業務 (投資環境、ビジネス慣行の改善)
  - 技術支援 (政府・民間企業への助言・訓練)

## 実績

設立以来、140カ国、2600社に自己勘定から310億ドル、協調融資分で200億ドルの資金を供与

融資・投資残高 (2001年6月末現在) :

109億ドル (1兆6000億円)

117カ国、1378社

(参考：JBIC国際金融等業務融資残高：10兆円

2001/3現在)

主要財務指標 2001年会計年度 (2000/7~2001/6)

総資産 262億ドル

払込済資本金 24億ドル

内部留保 37億ドル

営業収益 2億4100ドル

ROA 4.2%

### 2001年会計年度自己勘定契約調印

(部門別契約シェア)

金融・保険 (30.2%)

公益事業・交通 (21%)

情報・通信 (17.8%)

石油・ガス・採掘 (7.8%)

製造業 (3.8%)

(地域別投資) (100万ドル) (シェア)

ラテンアメリカ・カリブ海地域 (1017) (26%)

中東・北アフリカ (956) (24%)

アジア太平洋地域 (784) (20%)

サハラ以南アフリカ (642) (16%)

欧州・中央アジア (510) (13%)

資料：http://www.mofa.go.jp/mofaj/link/intl/ifc.html (外務省)、http://www.mof.go.jp/mdbs/p2001\_00.htm (財務省、MDBs (国際開発金融機関)パンフレット)、  
http://www.worldbank.or.jp/06group/01.htm (世界銀行東京事務所) http://www.ifc.org/ar2001briefs/ (英文年次報告書) http://www.ifc.org/publications/2001brochure.pdf (案内パンフ)